

第3回 水泳三団体様限定 スイミングクラブ向け事故防止セミナーのご案内

1. 研修会の開催

東京海上日動がスイミングクラブへの訪問結果や事故の発生傾向を基に、具体的な事例を交えながら事故防止策や事故が発生した際の迅速なお客様対応について、分かりやすく解説いたします。

- ① 日 時：開催日：2026年 9月25日(金) 午前11時～12時
10月14日(水) 午前11時～12時(録画配信)
(セミナーの内容は両日同じ内容となります)
- ② 参加対象：水泳三団体様加盟クラブの皆様
- ③ 開催方法：Zoomによるオンライン視聴(Webセミナー形式)
- ④ 費 用：無料
- ⑤ 参加エントリー方法：右記QRコードにアクセスし、エントリーしてください。
- ⑥ エントリー締め切り：各開催日の1週間前まで

スイミングクラブ向け
事故防止セミナーのご案内



2. 研修会の内容

「人間工学」「安全工学」などの科学的根拠に基づき、加盟クラブ様のリスク傾向や、よくある事故と対策例などをお伝えします。

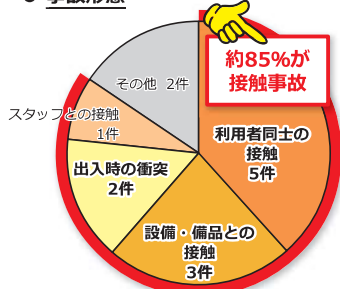
また、万が一事故が起きた場合に必要なお客様対応の基本事項(現場のスタッフがどのような行動をするのが良いか等)についても紹介いたします。

対象データ | 2025年4月～12月に水泳三団体加盟クラブ様で起きた賠償事故22件(スタジオ・ジム等で発生した事故および交通事故を除く)

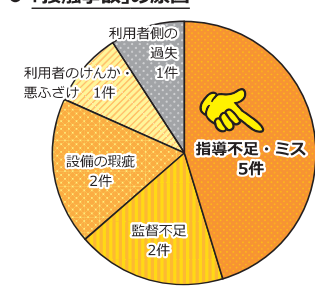
プール内で発生した事故 計13件

*プールサイド含む

● 事故形態



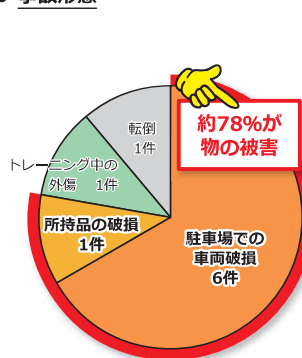
● 「接触事故」の原因



昨年度はプールを出入りする際の衝突事故が目立ちましたが、今年度は利用者同士の接触事故が多く発生しています。利用者同士のみならず設備や備品等との接触も合わせると全体の約85%を「接触事故」が占めており、例年同様、接触事故についての対策が求められます。接触事故の原因は様々ですが、「指導不足・ミス」や「監督不足」といった指導員の過失に起因するものが半数以上を占めています。特に、「指導不足・ミス」の中には、利用者への事前の説明が不足していたことに起因する事故がいくつか見られました。

プール外で発生した事故 計9件

● 事故形態



プール外では物の被害の事故が中心であり、「駐車場での車両破損」が最多である傾向は変わりません。例年同様、路面や設備の不良による破損事故が多く、今年度は特に「グレーチングの不備」に起因する事故が2件発生しています。路面や設備の不良の原因は主に「設備の瑕疵」や「メンテナンス不足」に分けられます。設備面について定期点検のタイミングが決められているが等、この機会に見直すことをお勧めします。人身傷害では、2件とも高齢利用者の事故です。高齢利用者は身体・認知機能の衰えがあることから、特に慎重な対応が求められます。対応方法についてのルール・標準化を行うことも重要です。

● 事故例 送迎時の転倒

足の不自由な利用者を送迎バスでご自宅に迎えに行き、バスに乗車させる際に転倒。

上記は一例となりますが、リスク傾向や加盟クラブ様の現場実態に則した事故防止策をご説明いたします。ご参加ご希望の方は上記QRコードよりお申込みください。セミナーの内容は両日同じ内容となりますので、どちらか1日でのお申込みとさせていただきます。(2日目は録画配信となります。)

今回のセミナーは総合補償制度の加入有無を問わず、水泳三団体に加盟のクラブ様であればご視聴いただけます。是非奮ってご参加ください。

取扱代理店

株式会社藤田組

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町6-7
(住長第二ビル3階)

TEL: 03-6810-9185 FAX: 03-6810-9186
(受付時間：平日の午前9時～午後5時まで)

引受保険会社

(幹事) 東京海上日動火災保険株式会社 公務第二部 文教公務室

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4 10F

TEL: 03-3515-4133 FAX: 03-3515-4132
(受付時間：平日の午前9時～午後5時まで)